

# 代 表 質 問 通 告 書

令和8年2月 9 日  
前  
午 1 時 18 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和8年2月 9 日

湖西市議会議長 神谷里枝 様



湖西市議会総務経済委員長

加藤治司



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁	
番号	主 題	質問者
1	自治会支援・地域担当職員制度について	加藤治司
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
	自治会支援・地域担当職員制度について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>1. 総務経済委員会が所管する市民安全部市民課の令和7年度基本方針において「自治会への支援及び助言を行う」こと、また重点目標として「地域担当職員制度の試行や時勢に沿った自治会活動の支援及び援助を行う」ことが掲げられている。このことから、委員会として自治会活動の重要性を認識し、本テーマを調査・研究課題とした。 調査研究にあたっては、つぎのような取組を行った。</p> <p>2-1. 自治会運営組織での現状把握(主な困り事のまとめは下記 2-2)</p> <p>①市民課との意見交換</p> <p>1)自治会役員の担い手不足と運営体制に関する課題 2)地域担当職員制度の試行・「自治会課題アンケート」の実施状況</p> <p>②議会報告会で意見・提案収集</p> <p>1)古い慣習を見直し、自治会の負担を軽減したい 2)新しい持続可能な自治会をみんなで模索できることが理想</p> <p>③自治会連合会研修会で困り事確認(41自治会の77名が参加)</p> <p>1)ファシリテーターが進行役となり、困り事解決のヒントを共有 2)小さな行動を通じて、地域を楽しく、生き生きと暮らせる場所に していく意識の醸成</p> <p>2-2. 現状把握での主な困り事と対策例</p> <p>① 担い手不足 (困り事)70歳位迄働く方が多く、自治会役員のなり手が少ない (対策例)働きながらも自治会役員を担える体制づくりが必要</p> <p>② 災害関係 (困り事)要支援者や外国籍住民と一体となった防災活動する体制が整っていない (対策例)幅広い世代が参加出来る役割づくりが必要</p> <p>③ 福祉関係 (困り事)要支援者と日常的な関わりや繋がりが不足</p>	

(対策例)地域イベントの活用や近隣住民による声掛けの促進

④ 運営全般 (困り事)多くの自治会で役員任期が1年ため、改善が進まない

(対策例)自治会費の口座振替導入や女性役員の依頼

⑤ 今後の予想 (困り事)自治会参加者の減少により、地域活動の縮小が懸念される

(対策例)市による自治会の存続支援・地域担当職員制度の試行・充実

### 3. 先進事例の調査(半田市の地域担当職員の役割)

先進事例として、愛知県半田市の地域担当職員制度を調査した。

・半田市では、小学校区単位の地域会議に担当職員が参加し、地域課題やニーズを把握した上で、住民と共に解決策を検討・提案している。また、地域からの要望を市担当課へつなぐとともに、市の情報を地域へ共有するパイプ役を担っている。

・制度は平成26年に導入され、担当職員は庁内公募制と職場割り振りを併用し、任期は2年となっている。あわせて、半田市地域担当職員制度実施要綱が整備されている。

#### (質問の目的)

少子超高齢化や担い手不足が進む中、自治会活動の継続が困難になりつつある。今後も自治会が防災や福祉をはじめとする地域の重要な役割を果たし続けられるよう、市がどのように自治会を支援し、地域担当職員制度を含めた実効性のある体制を構築していくのかを明らかにするため。

#### (質問事項)

1. 自治会は、防災、福祉、見守り、地域コミュニティの維持など、市民の暮らしを支える基盤的な役割を担っていると考える。少子高齢化やライフスタイルの多様化が進む中において、自治会を市としてどのような存在と捉えているのかを伺う。  
また、市政運営における位置付けや役割について、基本的な認識を伺う。

2. 市民課では、令和7年度に地域担当職員制度を試行しているが、この制度を試行するに至った背景や問題意識をどのように整理されていたのかを伺う。あわせて、制度設計にあたって、どのような先進事例を参考にされたのかを伺う。
3. 地域担当職員制度の試行にあたっては、自治会連合会との連携が重要であると考えているが、試行開始前に自治会連合会とどのような協議や意見交換を行い、どのような点を共有・確認したのかを伺う。
4. 今年度試行した地域担当職員制度の実施にあたっては、どのような方法で実施したのか。現時点でどのような効果や手応えがあったと認識しているのか。又、課題にはどのようなものがあるのかを伺う。
5. 令和8年以降も地域担当職員制度の試行を継続する場合、本格導入を見据えて、運営組織・地域担当職員制度実施要綱の整備(半田市参考)・自治会連合会との関係づくり・担当職員向けの研修や支援体制などについて、現時点でどのような方向性を想定しているのかを伺う。
6. 湖西市の最上位計画である、第6次総合計画・第二期実践計画では自治会などの地縁団体では、高齢化・少子化・ライフスタイルの多様化による、役員の担い手不足等により従来どおりの活動が難しくなっている状況が示されている。こうした中で、自治会の存続や機能維持をどのような行政課題として捉え、地域担当職員制度や研修会などの外部支援を含め、市としてどのような考え方で支援していくのか、基本的な認識を伺う。

以上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 代 表 質 問 通 告 書

令和 8 年 2 月 1 0 日

前

午 1 時 3 0 分 受 付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 8 年 2 月 1 0 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会福祉教育委員長 福永桂子



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁	
番号	主 題	質問者
1	市立湖西病院の経営改善と財源確保について	福永桂子
2	部活動地域クラブ移行に伴う課題解決に向けて	馬場 衛
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市立湖西病院の経営改善と財源確保について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市立湖西病院は、人口約5万8千人の湖西市における唯一の公立病院として、救急医療、入院医療、外来診療、健診、在宅医療のつなぎなど、地域医療の中核的役割を担ってきました。</p> <p>一方で、全国的な医師・看護師不足や医療費構造の変化、物価・人件費の上昇などを背景に、病院経営は厳しさを増しており、湖西市では令和6年度決算においても医業損失が約7億2千万円に達しており、一般会計からの多額の繰入金に依存せざるを得ない構造的赤字が続いています。</p> <p>「市立湖西病院経営強化プラン」に基づき、令和9年度までに基準外繰入金を2億円削減する目標が掲げられているものの、その実現性や具体的な道筋については、市民や議会にとって十分に見えているとは言えない状況にあります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>こうした状況から、本代表質問では、湖西市の財政との関係を踏まえて、一般会計に過度に依存しない自立的な財源確保を明らかにするとともに、次年度以降に向けた具体的な事業改善と施策の方向性を明確にします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和9年度までに基準外繰入金の2億円削減目標を前倒しすると市長は述べられましたが、この件に関する進捗状況をどのように評価しているのか伺う。</li> <li>2. 病院を存続させるための一般会計からの財政負担について、市として許容できる「上限」や「持続可能な基準」をどのように設定しているのか伺う。</li> <li>3. 企業健診や人間ドックの積極的な受託、地域包括ケア病棟の収益改善</li> </ol>	

について、今後の方針を伺う。

4. 医師・看護師をはじめとする医療人材を確保する具体策と、医療人材の働き方改革をどのように進めていくか伺う。

5. 夜間救急と在宅医療との役割分担を、どのように構築していく考えか伺う。

6. DPC 導入を、経営改善の軸として捉える考えはあるか伺う。

※DPC とは、病院ごとに1日の入院費を定額とする制度。「医療行為を行った分だけ加算する方式」から「効率的な医療を評価する方式」へと転換し、経営の健全化を図るための仕組み。

7. 将来的な医療需要と経営状況を鑑みた「病院規模」の考え方について伺い、現施設の老朽化対策として、新病院建設を視野に入れるのか、それとも既存施設の長寿命化を基本とするのか、今後の方針を伺う。

8. 浜松医科大学と浜松医療センターが参加する地域医療連携推進法人に湖西病院も参加するビジョンがあるのか伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	部活動の地域クラブ移行に伴う課題解消に向けて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市内中学校部活動が、令和10年中体連夏季大会をもって終了し、休日・平日を含めた地域クラブ活動を開始することが示された。</p> <p>地域クラブ活動に移行するにあって、各種目での地域クラブ活動組織・活動主体となる指導者の確保、クラブ運営の為の経費負担、クラブ活動への送迎の問題など、保護者の負担増など多くの課題や不安が発生する。</p> <p>また、スポーツに限らず、文化部等の検証も必要と考える。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>部活動の地域クラブ移行がスムーズに行われ、移行に伴う生徒・保護者の不安等解消につなげる為。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和10年までに現在部活動として活動している種目のすべて移行可能か、地域クラブの現状はどうか。</li> <li>2. 指導者に関する課題について             <ol style="list-style-type: none"> <li>ア. 指導者の確保は</li> <li>イ. 指導者への謝礼が発生するが対応は</li> <li>ウ. 指導者の活動時間帯の設定は (平日・休日)</li> </ol> </li> <li>3. 保護者の負担について             <ol style="list-style-type: none"> <li>ア. クラブ運営費など、会費や月謝の統一化は可能か。</li> <li>イ. 財政支援等の考えは。</li> </ol> </li> <li>4. 地域クラブ参加への送迎について             <ol style="list-style-type: none"> <li>ア. 活動場所への移動手段等どのように考えているか</li> </ol> </li> </ol>	

- イ. 移動手段に公共機関等の活用は可能か、また支援の考えは。
- ウ. 保護者の負担軽減を図る考えは。

5. 地域クラブ活動場所及び大会参加について

ア. 学校以外の活動場所の確保についての考えは。

イ. 活動の場所、時間帯について学校側としての関わりはどうか。

(平日) ・ (休日)

6. 地域完全移行に向け、「こどもまんなか」の視点をどう守っていくのか、所管責任者としての所見を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 代 表 質 問 通 告 書

令和 8 年 2 月 10 日  
前

午 / 時 45 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 8 年 2 月 10 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会建設環境委員長

楠 浩幸 (印)

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括の質問答弁	
番号	主 題	質問者
1	人口減少社会における都市構造の再構築と持続可能なまちづくりについて	楠 浩幸
2	地域特性を生かしたカーボンニュートラルの推進と実装段階への展開について	楠 浩幸
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	人口減少社会における都市構造の再構築と持続可能なまちづくりについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市においては、人口減少・高齢化が進行する中で、市街地の広がりに対して人口密度が低下し、空き家・空き地の増加や公共交通の維持、インフラ更新負担の増大など、まちの形や使われ方に起因する課題が顕在化している。</p> <p>こうした状況を踏まえ、次期総合計画では、バッテリーロード周辺及び浜松湖西豊橋道路 IC 周辺地区が、これまでとは異なる新たな地区として位置付けられている。</p> <p>一方で、これらの地区について、「働く場を中心とした地区なのか」「住むことを中心とした地区なのか」、あるいはその両方を担う地区なのかといった考え方が、市民にとって分かりやすく示されているとは言い難い状況にある。</p> <p>また、新たに位置付けられた地区が、既存の市街地や住宅地とどのような役割分担を行い、まち全体としてどのような形を目指していくのかについても、十分に共有されているとは言えない。そのため、建設環境委員会としては、新たに位置付けた地区が、計画上の整理にとどまることなく、企業の立地や雇用の場の確保、居住人口の定着など、実際のまちづくりにつながる取組として進められていくのか、当局の考え方を改めて確認する必要があると考え、質問するものである。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>次期総合計画において新たに位置付けられたバッテリーロード周辺及び浜松湖西豊橋道路 IC 周辺地区について、それぞれの地区をどのような役割を持つまちとして考えているのかを明らかにするとともに、企業誘致や雇用の場の創出、居住人口の定着と、どのように結び付けていこうとしているのかを確認することを目的とする。あわせて、まち全体の使い分けや役割分担の考え方が、今後の都市構造の再編や具体的な事業展開にどのように反映されていくのかについて、当局の基本的な方向性を確認することを目的とする。</p>	

(質問事項)

1. 人口減少を前提とした湖西市の都市像について

人口減少・高齢化が進行する中において、湖西市として、今後どのような都市像を目指していくのか。「働くことを軸とした都市」「住むことを軸とした都市」、あるいはその両立など、基本的な考え方をどのように整理しているのか。

2. 都市構造再編・まちの使い分けと新たに位置付けられた地区の考え方について

設問1で示された都市像を実現するためには、まち全体の使い分けや役割分担を整理していくことが重要であると考えますが、次期総合計画において新たに位置付けられた、バッテリーロード周辺及び浜松湖西豊橋道路 IC 周辺地区について、本市としてどのような役割を想定し、企業の立地や雇用の場の創出、居住人口の定着と、どのように関係付けていく考えか。

3. 都市拠点・地域拠点を軸とした人の流れの形成について

都市拠点・地域拠点は設定されているものの、人口減少が進行する中においては、単に拠点を配置するだけでなく、そこに人を集め、定住・移住につなげていく視点が重要であると考えますが、本市として、各拠点をどのように機能させ、人の流れを形成していく考えか。

4. 空き家・空き地対策の定住・移住戦略への活用について

人口減少が進む中で増加する空き家や未利用となっている空き地については、単なる住宅問題や土地管理の問題としてではなく、都市構造再編や居住誘導を進める上での重要な政策資源と捉える必要があると考えますが、本市として、空き家及び空き地の活用を、定住・移住戦略の中でどのように位置付け、今後どのような考え方で施策展開を図っていくのか。

5. 都市構造と連動した公共交通の中長期的方向性について

都市拠点や居住誘導を進めていく上では、公共交通が重要な役割を果たすと考えるが、公共交通（コーちゃんタクシー、企業シャトル BaaS、自動運転等）について、今後、都市構造や拠点形成とどのように連動させながら、中長期的に展開していく考えか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	地域特性を生かしたカーボンニュートラルの推進と実装段階への展開について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市は、環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画に基づき、2050年カーボンニュートラルの実現を目指している。これまで、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギー施策など、各種取組が進められてきたが、温室効果ガス削減の進捗管理や、施策全体の実効性については、引き続き検証が必要な段階にある。</p> <p>一方で、本市においては、下水汚泥等を活用したバイオガス利活用の実証事業や、浜名湖におけるアマモ増殖を通じたブルーカーボンの取組など、地域特性を生かした脱炭素施策が進展しつつある。</p> <p>特に、浜名漁協による JBC カーボンクレジット認証など、定量的な成果が示され始めており、これらを今後どのように位置付け、展開していくのが重要な局面を迎えている。</p> <p>建設環境委員会としては、こうした取組を「実証」や「個別事業」ととどめることなく、市の脱炭素政策としてどの段階まで実装していくのかを確認する必要があると考え、質問するものである。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市におけるカーボンニュートラル施策について、環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画に基づく全体像と進捗状況を整理するとともに、温室効果ガス排出量の把握や進捗管理の在り方について、当局の認識を確認することを目的とする。</p> <p>あわせて、バイオガス活用や浜名湖アマモ増殖（ブルーカーボン）といった地域特性を生かした取組について、今後の脱炭素施策、資源循環、都市政策との関係の中で、どのように位置付け、実装段階へ展開していくのか、その基本的な考え方を明らかにすることを目的とする。</p>	

(質問事項)

**1. カーボンニュートラル施策の全体像と重点分野について**

湖西市は、環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画に基づき、2050年カーボンニュートラルの実現を目指しているが、現時点において、本市として特に重視している取組分野と、その進捗状況をどのように評価しているのか。

**2. 温室効果ガス排出量の把握と進捗管理の在り方について**

温室効果ガス削減を進める上では、排出量の把握と進捗管理が不可欠であるが、本市における部門別排出量の把握状況及び、KPIを用いた進捗管理の現状と課題をどのように認識しているのか。

**3. バイオガス活用事業の進捗と今後の位置付けについて**

下水汚泥等を活用したバイオガス利活用については、建設環境委員会でも取り上げてきたところであるが、現在進められている実証事業の進捗状況と、技術面・事業面における成果及び課題をどのように評価しているのか。

また、今後、本市の脱炭素施策や下水道事業の中で、どのように位置付けていく考えか。

**4. 浜名湖アマモ増殖事業（ブルーカーボン）の評価と支援について**

浜名湖におけるアマモ増殖事業については、本年度、浜名漁協がJBCカーボンクレジットの認証を受け、約600トンのCO<sub>2</sub>削減効果が見込まれるなど、定量的な成果が示されている。この取組を、本市としてどのように評価しており、今後どのような形で支援・連携していく考えか。

**5. 資源循環・ブルーカーボンを含めた脱炭素施策の今後の方向性について**

バイオガス活用やブルーカーボンといった取組は、脱炭素に加え、資源循環や地域産業とも関係する施策であるが、これらを個別事業にとどめず、都市政策やインフラ政策、環境教育等と一体的に推進してはどうか、湖西市としての考えを伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること